

2021/2/2

(うとQ世話し「物の気持ちになってみると、あらら、あらま!!」)

ちょっと「へえ～」と思う記事を見かけました。

ネットに載っていた記事なのですが、元はどこかのテレビ局の特集の一部だったようです。

その記事というのは

「使い捨てカイロが思わぬ働きをする」

というのです。

大抵の人は「使い捨てカイロ」と言うだけあって、そのまま直ぐに捨ててしまうようなのですが、その特集では、そこからが又「お役立ち」になるというのです。

使い捨てカイロの中身は活性炭、その他なのですが、その活性炭を袋から出して、お皿にのせておくだけで「消臭剤」として使えるというのです。

さらには洗濯物干しと一緒にしておく「除湿剤」(即ち早く乾く)にもなるし、部屋干しの匂い消してくれる消臭剤にもなるのだそうで。

そうして最後の極めつけは、使い捨てカイロの成分の中の「鉄分」を取り出してキューブ状にして海や川に放り込んでほったらかしにしておくと「かなりの浄水効果」があるというのです。

無論多数のキューブが必要らしいのですが。

之を見て「全然違った物(商品)でも、その素材や成分に全く別の角度から光を当ててやると、思わぬ効果や再利用が出来る、のだなあ」

と思いました。

そうしてここからです、更に思ったのは

「自分にはもう用がないから」捨てる。

之というのは、言い方は悪いのですが「自分の事だけ」「人間の事だけ」のお話です。

しかし、ちょっと視点を変えて

「物の立場になってみたらどうだろうか？」

というのが今日の思いつきです。

曰く

「物生(物の人生)一度限り。もう一花を咲かせたい。もう一度お役に立ちたい」

という「もの君(さん)」の気持ちにひと様になることが出来たら、

「自分のご用だけで終わらせるのはこの子(もの君、さん)がかわいそうだ。もう一花咲かせてやろう」

という発想が生まれ、捨てないで人に譲ってあげたり、他の用途を自分で考え出したりするようになって、思いがけなく遠方の、そのまま捨てていたのでは生涯遭うことすらなかったであろう、人たちとのコミュニケーションが始まったり、新たな用途を考え出そうという知的冒険が始まったりする、あらら、あらま!!

のきっかけにもなるのではないのかなあ？

と思った次第です。

本日のお話は、人間界の「相手の立場に立って」をもう少し広げて
無生物界の「物の立場にまで立ってみては？」

というお話でございました。